

ゆう しん
有信

第168号

2025 秋号

2025年(令和7年)



福岡大学同窓会報
(編集・広報委員会)

発行所

郵便番号 814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1
一般社団法人 福岡大学同窓会有信会
電話 (092) 871-6631 FAX (092) 863-3668
E-mail yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp

印刷所

福岡市西区周船寺 3-28-1 正光印刷(株)

- 2~3面 令和7年度会員大会 支部長会 代議員総会
4~5面 会員大会講演会 (モーリー・ロバートソン氏)
在学生との懇談会
6~7面 薬学部65周年同窓会 建築学科60周年
工学部 経済学部 医学部(鳥帽子会)
同窓会総会
8~9面 七隈TOPICS

- 10面 活躍する母校卒エグゼクティブ
11面 支部ヒストリー 長崎支部70周年
12~13面 支部だより
14~15面 令和6年度
事業報告・収支計算書・財務諸表
16面 写真部OBが写真展
お知らせ お悔やみ



令和7年度 会員大会が開幕
モーリー・ロバートソン氏が講演

エグゼクティブ・ストーリー～母校が育んだビジネスリーダー～

薬学部65周年記念同窓会 建築学科60周年 長崎支部70周年



会員大会・懇親会

令和7年度会員大会が開幕 各地から支部長、代議員が参加

一般社団法人福岡大学同窓会有
信会の令和7年度の会員大会は6
月28日、福岡市のホテルニュー
オータニ博多で開かれ、各地から
地域、職域支部の支部長、代議員は
じめ多くの会員が集った。当日は
午後1時から支部長会、代議員總
会があり、続いてジャーナリスト
のモーリー・ロバートソン氏を招
き講演会があつた。

例年よりかなり早い梅雨明けと



各地から多くの有信会会員が参加

なり、暑さを感じる中、懇親会には母校から永田学長はじめ来賓24人を迎えて、有信会会員276人が参加した。令和6年度の会務報告を村上理事が務め、母校への支援、会員相互の交流・親睦強化、広報活動の充実などを柱とした有信会の活動状況を報告した。また、退任する役員5人、支部長4人に川畠理事長から感謝盾が贈られた。



会務報告を行なう村上理事



母校100周年へ向けご支援を

有信会は、今年度で創立88年目、社団法人発足から70年目、一般社団法人移行から12年目を迎えます。支部における活動も年々盛んになっているところでございます。63の地域支部と36の職域支部を合わせて99支部になります。これからも会員の皆様と力を合わせて一層発展させて参りたいと存じます。代議員の皆様には、事業報告、決算報告、理事監事の選任の件、ご承認ありがとうございました。講演会では、モーリー・ロバートソン先生をお招きすることができ出来ましたこと、ありがとうございます。今後とも皆様のご期待に応えることができますよう、計画して参りたいと存じます。9年後の令和16年（2034年）の福岡大学創立100周年に向けて、母校を支え応援して参りましたこと、存じますので、皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。ご出席の皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

支部長会 代議員総会

総代
議員
会

令和6年度事業報告、 決算を拍手で承認



熱氣あふれる代議員総会

有信会の最高議決機関である「令和7年度定時代議員総会」が開かれ、各学部から選ばれた代議員総数411人中、出席202人、委任状111人の合計313人で総会は成立し、議案を審議した。



| 有信会役員 | | |
|-------|-------|-------|
| 役職名 | 氏名 | 卒部年 |
| 理事長 | 川畠 懿子 | 商34 |
| 副理事長 | 百田 篤 | 商42 |
| 副理事長 | 瀬尾 隆 | 薬48 |
| 副理事長 | 野田 武史 | 商50 |
| 理事 | 石川 直茂 | 商39 |
| 理事 | 石橋 康治 | 商46 |
| 理事 | 八尋 茂 | 経済47 |
| 理事 | 井上 文博 | 法48 |
| 理事 | 山下 哲雄 | 人文49 |
| 理事 | 村上 繁 | 理49 |
| 理事 | 松原 秀樹 | 法50 |
| 理事 | 真鍋 和弘 | 体育52 |
| 理事 | 内田 祐子 | 商54 |
| 理事 | 竹下 盛重 | 医55 |
| 理事 | 小島 隆志 | 商57 |
| 理事 | 中野 義貴 | 工57 |
| 理事 | 山口 久嘉 | 商二58 |
| 理事 | 長濱 和久 | 経済63 |
| 理事 | 石橋 透光 | 工H11 |
| 理事 | 前田 司 | 人文H21 |
| 監事 | 小林 孝行 | 法42 |
| 監事 | 山口 秀朗 | 商53 |



議事進行する百田氏



各支部から支部長が参加



報告する各支部長

支
部
長
会

新任支部長が活動を報告

令和7年度の支部長会は、地域支部63、職域支部36から各代表が出席した。今期、11人が新しく支部長に就任、自己紹介と支部の近況・活動状況、所感を述べた。各支部長から「若手、女性層の参加促進」「総会・例会の開催方法の工夫」など多くの課題や運営方法への報告があった。続いて終身会費に対する運営助成金、令和8年の代議員選挙について報告があり、各支部長は意見に熱心に聞き入っていた。

新任支部長（敬称略）は以下の通り。東海支部長 竹嶋典雄（工61）、神戸支部長 安田健司（薬47）、宇部支部長 真宅宣昭（法55）、長門支部長 大田力（商1-H3）、浮羽支部長 重富孝治（工54）、佐賀支部長 梅野義弘（商62）、八代支部長 大瀬正之助（商56）、豊後高田支部長 平野幸正（商56）、豊和銀行支部長 山崎栄雄（経済H2）

会員大会 講演会

退任役員・支部長 有信会活動に貢献

一役員 6人、支部長 7人に感謝盾

有信会活動、発展に尽力した会員大会に出席の5人の役員と4人の地域支部長に、会員大会の席上で川畠理事長から感謝盾が贈られた。川畠理事長は「ご苦労さまでした」と労いの言葉を贈り、退任者たちは、これまで有信会活動を支え、いずれも責務を終えて晴れやかな表情だった。

退任者は次の通り。

〔敬称略〕退任役員＝理事 水原博而（体育48）、理事（故）篠原統

（経済40）、理事 鬼木彬（商二44）、理事 杉岡敏雄（工51）、理事 古賀亨（工59）、監事 隅扶三郎（法62）、退任支

部長＝東海支部長 黒瀬久児夫（法52）、鳥取西部支部長

田子章臣（工44）、神戸支部長 中島辰次郎（法44）、佐賀支部長 野中達也（体育53）、

添田支部長 廣田敏正（工44）、八代支部長 堀澤敬順（経済48）、浮羽支部長 平川和彦（商52）



感謝盾を受ける水原理事



多くの参加者が聞き入った講演会

講演後、有信会からモーリー・ロバートソン氏へお礼の花束が贈られた。講演会は有信会の社会貢献事業として一般市民に無料公開している。

有信会の社会貢献事業である講演会は、ジャーナリストのモーリー・ロバートソン氏を招き、「日本の未来はどうなる？～国際情勢と日本の未来～」をテーマに講演、会員、一般市民含めて約450人が熱心に聞き入った。

モーリー氏は、ウクライナとロシアの紛争を踏まえ国際情勢やトランプ政権の戦略などについて話し、とくにイラン・イスラエルとの紛争の実態の裏側には情報戦、心理戦などがあるとの解説に、聴講した参加者は領きたいた。



講演するモーリー・ロバートソン氏

モーリー・ロバートソン氏 (ジャーナリスト) が講演

今年も学園祭に合わせて開催　—ホームカミングデー

卒業生が旧友と再会したり、新たな出会いを楽しんだり、キャンパスとの触れ合いを図ることを目的に開催されている「卒業生ホームカミングデー」。令和7年度開催は、七隈祭に合わせ、令和7年11月3日（月・祝）10：00～12：20、福岡大学病院福大メディカルホールでお楽しみ抽選会や学友会団体による演奏、卒業生へのエール（応援指導部）が行なわれる。記念品のプレゼントもある。入場無料だが、参加申込が必要。（今年度の開催詳細は福岡大学のウェブサイトでご確認ください）



昨年のホームカミングデー

在学生との懇談会

懇談会には、母校の永田学長をはじめとする大学関係者、学生執行部、各学部クラブ活動の代表者、そして各学部長の推薦を受けた現役学生が招待された。有信会からは川畠理事長、役員、そして各界で活躍中の企業経営者である卒業生、有信会会員が参加し、学生との活発な交流が生まれた。

今回の卓話には、福岡電材株式会社の取締役会長である八尋茂さん（経済47）が登壇した。「大学4年間で学んだ事」と題し、自身の経験を

生まれの生粹の博多っ子で、体育会系ヨット部で活動した。高校時代は学でのヨット部活動を通して組織運営における大切な精神を学び、それが現在の会社経営にも活かされていく。

参加した在学生たちは、先輩方の実体験に触ることで、自身の学生生活やキャリア形成について深く考える有益な時間を過ごした。この懇談会を通じて、在学生と卒業生の絆がさらに深まり、今後の学生生活や将来のキャリア形成において大きな糧となることが期待される。



講演する八尋さん



ヨット部での体験を披露

交えたが、整理整頓や時間管理、挨拶の重要性と、いってた、



熱心に講演を聴く在学生



現役、OBも和やかに



タレントの山田としあきさんも参加



チャリティーゴルフ 参加者募集

開催日・令和7年10月9日(木)



場所：小郡カンツリー倶楽部（福岡県小郡市）
チャリティー募金寄贈先：社会福祉法人茜会
障がい者支援施設 あかね園（福岡県飯塚市）
参加申込先：有信会事務局 tel:092-871-663
(内線 2295) fax: 092-863-3668
E-Mail : yushin@adm.fukuoka-u.ac.jp



福岡大学有信会奨学基金 奨学生採用式

有信会奨学基金の奨学生採用式が7月24日、母校ヘリオス6階ギャラリーであり、今年度は、北村珠々奈さん(医学部・看護学科4年)が採用された。永田学長から奨学生証が授与され、有信会の野田副理事長は「学生生活を有意義なものにしてください」と奨学生を激励した。



学部・部活同窓会

薬学部創立65周年

—記念同窓会を開催



あいさつする瀬尾薬学部同窓会長

薬学部創立65周年を迎えた、これを記念し4月20日、薬学部同窓会は記念行事を開催した。これまでに1万2千人を超える同窓生を輩出し、各地で活躍している。60周年記念同窓会は新型コロナウイルスの影響で中止となつたため、今回の開催は10年ぶり、第15回目となつた。

記念行事では、「令和

を生きる薬剤師・薬学の展望」と題した記念講演会が、ホテルニューオータニ博多4階「鶴の間」で開催された。講演会では第19回卒で日本病院薬剤師会

会長の武田泰生先生が「次世代医療への貢献—薬剤師に求められる職能と責務」について、また、第30回卒で日本薬剤師会副会長の原口亨先生が「医療DXの進展と薬剤師・薬局の役割」について講演を行つた。

講演会後には、同ホテル会場にて記念懇親会(第15回同窓会)が開催され、多くの同窓生が集い、旧交を温めるとともに、今後の薬学の発展について意見を交わした。今回の記念行事は、薬学部の輝かしい歴史を振り返りつつ、未来に向けた展望を共有する貴重な機会となつた。



花を添えた応援団



三島前薬学部長もサークル仲間と

工学部同窓会は、各学科ごとに同窓会を組織し、役員が集い交流を重ねており、参加した福機会、彗揚会、福陽会、電子会の各役員から近況報告があった。若手会員の参加減少、同窓会の運営方法、コロナ後の活動再開など、活動や課題について熱心に意見交換がなされた。

工学部同窓会は、各学科ごとに同窓会を組織し、役員が集い交流を重ねており、参加した福機会、彗揚会、福陽会、電子会の各役員から近況報告があった。若手会員の参加減少、同窓会の運営方法、コロナ後の活動再開など、活動や課題について熱心に意見交換がなされた。

鳥帽子会(医学部同窓会)総会

7月5日、ソラリア西鉄ホテル8階にて、「福岡大学医学部同窓会第44回鳥帽子会総会」が開催された。本年度の総会は第28回生と第38回生が担当。総会では、予算、決算報告に続き、今年度の研究奨励賞、FUOMSA、鳥帽子会賞の各表彰が行われた=写真。

懇親会では、有信会の川畠理事長が「医学部の益々のご活躍を期待します」と祝辞を述べた。続いて鳥帽子会名誉会長である朔啓二郎名誉学長が挨拶し、朔基金の創設を披露した。また、28回生の横関弘一先生による「整形外科医のよもやま話」と題した講演も行われ、参加者は和やかに歓談し、最後に円陣を組んで校歌を齊唱した。

工学部同窓会総会

祝辞を述べる川畠理事長
(下)

学部・部活同窓会



講演する江口准教授
2年ぶりの再会

経済学部同窓会は5月24日、母校文系センター棟スライラウンジにて2年ぶりの総会を開催した。来賓、同窓会員50人が参加した。第14回総会から隔年開催として実施。まず、昨年逝去された前篠原会長への黙祷から始まり、八尋新会長が就任し、決算報告や昨年の活動報告が行われた。



記念講演では経済学部で環境経済学専攻の江口昌伍准教授が「再生可能エネルギーの影響」について講演。参加者は興味深い話しに聞き入っていた。懇親会では渡邊経済学部長の乾杯で祝宴に入った。経済学部卒業の世代を超えた同窓生たちが交流を深め、校歌齊唱や万歳三唱で絆を再確認。年代、世代を超える「福大経済OB・OG」の交流を図った。次回の総会は隔年での開催のため、令和9年に開催の予定。

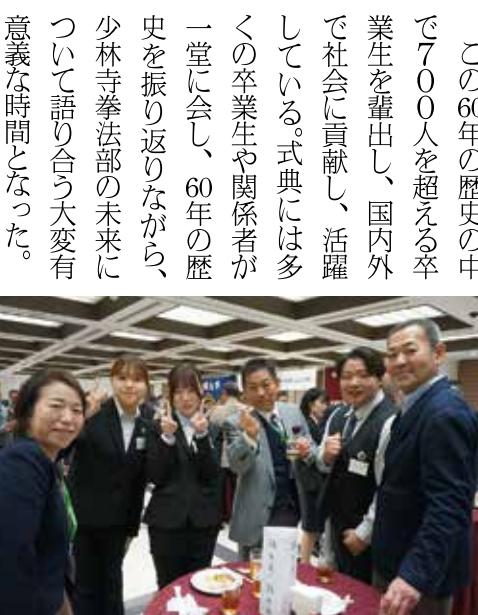
—2年ぶりの総会

経済学部同窓会

—創立60年を祝う

少林寺拳法部

創立60周年を迎えた



この60年の歴史の中で700人を超える卒業生を輩出し、国内外で社会に貢献し、活躍している。式典には多くの卒業生や関係者が一堂に会し、60年の歴史を振り返りながら、少林寺拳法部の未来について語り合う大変有意義な時間となつた。

現役と一緒に交流



中野さんの功績をたたえ一同で記念写真

少林寺拳法部の記念式典が5月3日、西日本新聞会館16階のTKP天神スカイホールにて開催された。少林寺拳法部は、昭和40年に愛好会として発足以来、多くの方々の理解と支援を得て活動を続けてきた。少林寺拳法は、昭和22年に開祖・宗道臣によつて創始されたもので、「半ばは自己」の幸せを、半ばは他人の幸せを」という教えのもと、心豊かな社会の実現を目指している。

この60年の歴史の中でも同部へ寄贈された。参加した現役学生も同部の歴史の重みを感じつつ、OB・OGにとっても学生時代を懐かしむ楽しい時間となつた。

—100周年へ向け、高商からの伝統をつなぐ

バレーボール部90年

バレーボール部OB・OG会は、男子部の創部90周年を記念し、女子部(創部53年)と合同で「創部90周年記念総会・祝賀会」を7月20日、母校スカイランジで開催した。福岡高商からの歴史を持つ伝統ある同部では、創部100周年を目指す節目の行事と位置づける。コロナ禍で中断していた総会も3年ぶりに再開し、OB・OGと現役学生との交流も実現した。

同部OBで日本代表選手として、東京、メキシコ、ミュンヘン五輪でメダル獲得に貢献した中野尚弘さん(法37)に黙祷を捧げ、全員でその功績を悼んだ。また、昭和39年の東京五輪で着たジャケットなどの遺品も同部へ寄贈された。



令和6年度 卒業式

—新たな有信会員

学びの舍巣立つ



3月19日、福岡大学第二記念会堂にて令和6年度卒業式が挙行され、3、984人の卒業生が門出を迎えた。式典では、永田潔文学長から各学部・大学院研究科の総代へ学位記が授与された。また、陸上競技部のアツオビン・ジェイソンさんと伊藤彩香さん、ハンドボール部の細田啓輔さん、サッカー部の橋本悠さんが、課外活動での顕著な功績により学長賞を受賞した。

永田学長は式辞で、平和な日本で学び、働くことができ



応援指導部の力強いエールと校歌斉唱の後、色鮮やかなナープが打ち上げられ、卒業生の未来を祝福するように会場を彩り、盛大な拍手の中、式は閉幕した。卒業生は各学部で学位記や記念品を受け取り、恩師や仲間との最後の時間を過ごした。卒業生の輝かしい未来が期待される。

ることへの感謝を述べ、世界の幸せに貢献できる人材になるよう卒業生を激励した。卒業生総代の樅木涼花さん（法学部）は、コロナ禍での入学から日常の尊さを実感した4年間を振り返り、大学で得た経験と絆を糧にそれぞれの道へ進む決意を語った。

応援指導部の力強いエールと校歌斉唱の後、色鮮やかなナープが打ち上げられ、卒業生の未来を祝福するように会場を彩り、盛大な拍手の中、式は閉幕した。卒業生は各学部で学位記や記念品を受け取り、恩師や仲間との最後の時間を過ごした。卒業生の輝かしい未来が期待される。



永田学長は新入生へ「好き

なことに熱中し、失敗を恐れず自分を磨くことができる今を大切に、福岡大学の環境を最大限に生かすべし」とエー

ルを送った。また、建学の精神である「積極進取」の精神で自らの道を切り拓き、本学

でしか得られない学びを自信と誇りに変えるよう促した。

新入生総代の松雪凌空さん（経済学部）は、世界や日本の困難に触れつつ、福岡大学での学びや経験を生かして社会に貢献していく決意を述べた。ま

た、新たな挑戦の中での失敗や挫折も柔軟に適応し乗り越える力を強調し、「知」と「心」を磨き、創造性と倫理観を備えた人材として国際・地域社会に貢献するよう努めることを誓った。

式典では、応援指導部や和太鼓部「鼓舞猿」が力強いエールを送り、校歌斉唱後には色彩テーマが宙を舞い、新入生を華やかに歓迎した。新入生にとって実り多き大学生活となることが祈念される。

令和7年度 入学式

—希望を胸に新入生

5000人超！

伝統の福西戦—春季リーグで熱い声援！



5月11日、九州六大学野球春季リーグ戦の伝統の一戦「福西戦」が春日公園野球場で開催された。母校の永田学長も始球式に打者として登場。試合は9-2で西南学院大学に快勝した。約400人の大応援団による応援合戦では肌寒い天気の中、両校の応援が球場を熱気に包み、スティックバルーンや太鼓の音が選手を鼓舞した。リーグ優勝は消滅していたものの、選手たちは熱い応援に応え、全勝優勝目前の西南学院大学に意地を見せた勝利を収めた。



七隈トピックス

NANAKUMA TOPICS

が、2月15日に開催された。午前中は母校8号館831教室にて記念講演会が行われ、宮崎慎也福岡大学准教授をモデレータに迎え、日建設計の大庭拓也さん（工H17）、倉掛設計事務所の倉富健寛さん（工H19）、鹿児島大学の倉富洋さん（工H21）がパネリストとして「カーボンニュートラルを見据えた木質構造の展開」をテーマに、パネルディスカッションを行った。Ⅱ部では、建築家・隈研吾氏による「アジアの未来を考える」と題した講演会が開催され、盛況のうちに終了した。



川畑理事長を囲み記念撮影

ソラリア西鉄ホテルにて祝賀会が開催され、多くの関係者が出席し、創立60周年を祝した。本記念事業は、建築学科の歴史と未来を考える貴重な機会となつた。



洋さん（工H21）がパネリストとして「カーボンニュートラルを見据えた木質構造の展開」をテーマに、パネルディスカッションを行った。Ⅱ部では、建築家・隈研吾氏による「アジアの未来を考える」と題した講演会が開催され、盛況のうちに終了した。

母校女子剣道部は、令和6年11月に愛知県春日井市で開催された「第43回全日本女子学生剣道優勝大会」で見事初優勝を果たした。女子剣道部としては創部以来、初の優勝で、この快挙を記念して2月22日、母校スカイラウンジで祝賀会が盛大に執り行われた。有信会から川畑理事長がお祝いに駆けつけ、七剣会（福岡大学剣道部OB・OG会）江藤庄治会長に祝金を渡し初優勝を祝福した。また、福岡県剣道連盟からの表彰、七剣会からの記念品贈呈も行われた。剣道部OBであるタレントの「ゴリけん」さんも来場し、選手とのエピソードトークで会場を盛り上げた。



七剣会江頭会長にお祝いを渡す川畑理事長

多くの関係者で優勝を祝った



美さん（人文59）が就任した。

多くの関係者で優勝を祝った

ボーラー部は、「SoftBank ウィンターカップ2024 優勝祝賀会」（第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会）で3年ぶり4回目の優勝を果たした。この快挙を記念し2月13日、ホテルニューオータニ博多にて、優勝祝賀会が開催され、多くの関係者が出席し、その功績を称えた。

会場は祝福ムードに包まれ、選手たちの今後のさらなる活躍が期待される会となつた。同校の田中慎吾校長に、有信会の川畑理事長がお祝いを渡した。祝賀会では選手たちの努力と栄光を称え、同部の今後さらなる活躍を祈った。

ボーラー部は、「SoftBank ウィンターカップ2024 優勝祝賀会」（第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会）で3年ぶり4回目の優勝を果たした。この快挙を記念し2月13日、ホテルニューオータニ博多にて、優勝祝賀会が開催され、多くの関係者が出席し、その功績を称えた。

会場は祝福ムードに包まれ、選手たちの今後のさらなる活躍が期待される会となつた。同校の田中慎吾校長に、有信会の川畑理事長がお祝いを渡した。祝賀会では選手たちの努力と栄光を称え、同部の今後さらなる活躍を祈った。

FUスポーツまちコンソーシアム幹事長の母校の乾スポーツ科学部教授が「大学スポーツ資源を活用した企業等の健康経営と地域スポーツの連携を考えるセミナー」が7月4日開催され、大学のスポーツ資源を活用した企業等の健康経営への連携が議論された。写真



建築学科が創立60年 ー建築家隈研吾氏が記念講演

母校女子剣道部が 全国制覇の快挙！

大濠バスケ部が祝賀会 ーウインターカップで優勝

健康経営と地域 スポーツの連携

ー母校スポーツ科学部乾教授が講演

が、2月15日に開催された。午前中は母校8号館831教室にて記念講演会が行われ、宮崎慎也福岡大学准教授をモデレータに迎え、日建設計の大庭拓也さん（工H17）、倉掛設計事務所の倉富健寛さん（工H19）、鹿児島大学の倉富洋さん（工H21）がパネリストとして「カーボンニュートラルを見据えた木質構造の展開」をテーマに、パネルディスカッションを行った。Ⅱ部では、建築家・隈研吾氏による「アジアの未来を考える」と題した講演会が開催され、盛況のうちに終了した。

母校女子剣道部は、令和6年11月に愛知県春日井市で開催された「第43回全日本女子学生剣道優勝大会」で見事初優勝を果たした。女子剣道部としては創部以来、初の優勝で、この快挙を記念して2月22日、母校スカイラウンジで祝賀会が盛大に執り行われた。有信会から川畑理事長がお祝いに駆けつけ、七剣会（福岡大学剣道部OB・OG会）江藤庄治会長に祝金を渡し初優勝を祝福した。また、福岡県剣道連盟からの表彰、七剣会からの記念品贈呈も行われた。剣道部OBであるタレントの「ゴリけん」さんも来場し、選手とのエピソードトークで会場を盛り上げた。



七剣会江頭会長にお祝いを渡す川畑理事長

ボーラー部は、「SoftBank ウィンターカップ2024」（第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会）で3年ぶり4回目の優勝を果たした。この快挙を記念し2月13日、ホテルニューオータニ博多にて、優勝祝賀会が開催され、多くの関係者が出席し、その功績を称えた。

ボーラー部は、「SoftBank ウィンターカップ2024」（第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会）で3年ぶり4回目の優勝を果たした。この快挙を記念し2月13日、ホテルニューオータニ博多にて、優勝祝賀会が開催され、多くの関係者が出席し、その功績を称えた。

ボーラー部は、「SoftBank ウィンターカップ2024 優勝祝賀会」（第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会）で3年ぶり4回目の優勝を果たした。この快挙を記念し2月13日、ホテルニューオータニ博多にて、優勝祝賀会が開催され、多くの関係者が出席し、その功績を称えた。

ボーラー部は、「SoftBank ウィンターカップ2024 優勝祝賀会」（第77回全国高等学校バスケットボール選手権大会）で3年ぶり4回目の優勝を果たした。この快挙を記念し2月13日、ホテルニューオータニ博多にて、優勝祝賀会が開催され、多くの関係者が出席し、その功績を称えた。

活躍する母校卒エグゼクティブ——『福岡編』

母校で培われた学びと経験を礎に、企業、財界など、社会の第一線で活躍し続け、取締役や役員として活躍する卒業生は多い。それぞれの分野で顕著な功績を残す卒業生に母校での思い出、そして未来へのビジョンを聞いた。

藤本彰穂さん(工54)
西日本プラント工業特別調査役

山本圭介さん(工53)
ホテルニューオータニ九州社長

松藤悟さん(経済62)
西日本鉄道取締役常務執行役員

森一樹さん(経済62)
コープ九州事業連合専務理事

—原子力エンジニアの道を究め、豊富な経験を母校でも

—理系出身の異色ホテルマン、赤字を黒字に変えた手腕

—鉄道事業の安定的な運営を支える

—地域に根付いた、生協事業を牽引



日田高校から、母校工学部電気工学科へ。在学中の思い出では、特に寮生活で培った絆は深く、今も交流が続く。原子力発電のエンジニアを志し、昭和54年西日本プラント工業株式会社に入社。長年の役員経験で培った豊富な知識と洞察力を活かし、副社長も務めた。現在は特別調査役として会社経営全般への助言や特命事項を担当する。縁あって母校父母後援会の会長を引き受けたことで、2005年度からは福岡大学評議員会の議長という重責を担う。議長には、秩序を保つ能力や議事の理解力が求められ、藤本さんの輝かしいキャリアと母校への深い貢献意欲が評価された。



福岡中央高校から母校工学部化学工学科（現化学システム工学科）へ。昭和53年ホテルニューオータニ博多の新卒1期生として入社。理系出身の木村は珍しく、宿泊部支配人や人事・総務部長を経て、2003年初の生え抜き社長に就任し、11期連続の赤字をわずか1年で黒字に転換させると

学生時代はESS研究部に所属、英語での討論やスピーチを通じて論理的思考とコミュニケーション能力を磨いた。昭和62年に西日本鉄道株式会社へ入社後は、鉄道事業部門で経験を積む。営業企画部長や計画部長、副本部長を経て、2023年、常務執行役員として鉄道事業本部長に就任。西鉄ブランドの源泉である公共

大学時代は「経済理論研究同好会」に所属、「学業にも遊びにも熱心に取り組みました」と懐かしく述べます。昭和62年にエフコープ生活協同組合に入協し、九州・小倉での配送業務からキヤリアをスタート。組合員の二一年にエフコープ生活協同組合連合会ゴープ九州事業連合として、鐵道事業の安定的な運営を支える重要なリーダーとなリーダーとして、鐵道事

—原子力エンジニアの道を究め、豊富な経験を母校でも

—理系出身の異色ホテルマン、赤字を黒字に変えた手腕

—鉄道事業の安定的な運営を支える

—地域に根付いた、生協事業を牽引



11期連続の赤字をわずか1年で黒字に転換させると喜び」という哲学を掲げ、厳しい経営改革を進める一方で、従業員や地域社会との信頼関係を大切にしてきた。ホテルの施設改装や新レストランのオープンを主導し、多様化する顧客ニーズに応える経営スタイルを取り入れた。柔軟な発想と人間味あふれるリーダーシップ、地域社会貢献への姿勢を欠かさない。



エフコープ生活協同組合 生活協同組合連合会 ゴープ九州事業連合

—原子力エンジニアの道を究め、豊富な経験を母校でも

—理系出身の異色ホテルマン、赤字を黒字に変えた手腕

—鉄道事業の安定的な運営を支える

—地域に根付いた、生協事業を牽引



支部ヒストリー

少林寺の教えを大切に

——諫早支部 藤山正昭支部長(法46)

「少林寺の教えー半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せをーの精神はいまでも大切にしています」と話す諫早支部の藤山正昭支部長。昭和42年に諫早高校を卒業後、母校法学部へ進学した。大学時代は先輩の誘いで少林寺拳法部(当時愛好会)に入部し、練習に打ち込む日々を送った。

卒業後は地元諫早市役所に入庁し、要職を歴任、さらには副市長を務めるなど、長年にわたり地域の発展に尽力した。その豊富な行政経験とリーダーシップは、平成元年からの長きにわたり諫早支部長として支部を牽引する上でも大いに活かされている。

毎年7月に総会を開催し、県内の長崎、佐世保支部とも積極的に交流を深め、会員相互の親睦を促進してきた。近年はコロナ禍以降の活動に苦心しているが、若手会員や女性会員の参加を増やすべく尽力している。母校卒業生が多く



「新幹線で母校も近くなりました」(諫早駅前で)

在籍する地元のたばな信金、十八親和銀行、諫早市役所からの協力も得て、総会参加者は増加傾向にあるという。

また、子供の頃からソフトボールを始め、現在もその普及に携わるなど、地域活動にも積極的に関わっている。公私にわたり、「他人の幸せ」を追求する藤山支部長の温かい人柄と、同窓会の発展に尽くす姿勢が、諫早支部の活気と結束力の源となっている。

総会では、令和6年度事業報告、収支決算報告、監査報告、令和7年度収支予算案の議案を承認した。

また、7月15日には、支部創立70周年を記念し、昨年50周年を迎えたグラバー園にソメイヨシノの記念樹が植樹された。当日は5人の役員が出席し、植樹を行った。



総会後には懇親会が開催され、マジシャンによる各テーブルでのマジック披露で大いに盛り上がった。

初めて参加する同窓生が壇上で自己紹介し、母校への思いを語り、来年度のさらなる会員参加への期待が高まった。宴の最後には、参加者全員が円陣を組み校歌斉唱を行い、長崎支部の団結力と愛校心を感じさせた。



グラバー園での記念植樹

長崎支部70周年

——グラバー園に記念植樹

6月11日、「長崎支部創立70周年総会及び懇親会」がガーデンテラス長崎ホテル&リゾートにて開催され、62人の同窓生が参集した。母校から鶴田教務部長、有信会から川畑理事長が来賓として出席した。

来賓や各支部長との交流もあり、盛会のうちに終了した。



詳しくは有信会ホームページ・「各支部より」をご覧ください。 **有信会**

検索



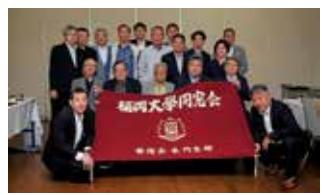
令和7年5月22日、ホテルニユイー
オータニ佐賀にて「佐賀支部総会」
が開催された。来賓5人、会員71人、
計76人が参加した。母校の渡邊経
学部長、今泉キャリアセンター事務
部長、有信会の川畑理事長らが祝辞
を述べた。令和6年度の事業・決算
報告、令和7年度の事業計画・予算
案、役員案が全て承認された。懇親
会は活発な情
報交換や交流が
行われ、新社会
人と初参加者も
交え、恒例の記
念品抽選会も好
評であった。校
歌齊唱で締めく
くられた。

佐賀支部



令和7年2月9日、めんこ味の
蔵九ちゃんにて「第45回添田支部総
会」が開催された。来賓5人、会員
9人が集い、長年支部長を務めた廣
田氏が勇退し、満倉氏が新支部長に
就任した。坂本氏、賀門氏が新副支部長に就
任した。有
信会から水
原理事、田
川支部、京
築支部から
も来賓が訪
れ、参加者
たちは親睦
を深めた。

添田支部



令和7年5月24日、長門湯本温泉
のホテル西京にて「第36回長門支部
総会」が開催された。有信会の松原
理事長を来賓に迎え、18人の会員が参
加した。総会に先立ち、前支部長の
瀬戸氏、黙祷が捧げられた。全ての
議案が承認され、三輪支部長の退任
と大田新支部長の就任が決定した。
懇親会では「母
校クイズ」で盛
り上がり、親睦
が深まった。校
歌齊唱、一丁締
めをもって閉
会。次回は令和
8年5月頃の開
催を予定する。

長門支部



令和7年2月15日、のがみプレジ
デントホテルで「第81回飯塚支部総
会」が開催された。母校の永星副学
長、有信会の石橋理事を含む来賓14
人、会員約40人が参加。全ての議案
が承認され、懇親会では旧交が温め
られた。飯塚
在住の二胡奏
者、梶原香織
氏のライブで
会場は活気に
満ち、飯塚市
役所からも10
人以上が参加
した。来年は
さらに多くの
会員の来場を
目指す。

飯塚支部



令和7年5月25日、亀山亭ホテル
にて「第30回日田支部総会」が開催された。
母校より永田学長、有信会より川畑
理事長を含む来賓6人、会員12人が参
加した。日田観光祭の花火大会に
合わせ開催され、総会時は天候に恵
まれ、盛大
な花火を鑑
賞しながら
和やかな懇
親会となっ
た。参加者
一同、感動
的なひとと
きを過ご
し、盛会の
うちに無事
終了した。

日田支部



令和7年3月8日、いけす料理と
らやで「天草支部総会・懇親会」が
開催された。母校の山下副学長、有
信会の石川理事を来賓に迎え、総勢
16人が出席。大学の最新情報が紹介
され、活発な意見交換がなされた。
懇親会では自己
紹介や近況報
告、大学時代の
思い出話に花が
咲いた。天草經
濟界で活躍する
会員の意見交換
も行われ、有意
義な時間となっ
た。今後も会員
增加に尽力す
る。

天草支部



令和7年5月25日、福津市の正直
亭で「令和7年度古賀支部総会」が
開催された。母校の檜垣スポーツ科
学部長、有信会の水原理事、糟屋支
部の母里支部長を来賓に迎え、会員
22人が参加した。桜の植樹後の報告
や会員加入促進
の成果が報告さ
れ、議事全てが
承認された。懇
親会では大学の
近況や思い出話
が交わされ、応
援部の演武、校
歌齊唱、万歳三
唱で成功裏に終
了した。

古賀支部



令和7年5月10日、「第19回糟屋
支部総会」が八仙閣本店で開催され
た。母校の吉満副学長、有信会の川
畑理事長、古賀支部の松浦支部長が
来賓として出席し、会員44人が参
加。令和6年度の事業・決算報告、
令和7年度の事業
計画・予算案が承
認された。来賓か
らの母校近況報告
後、懇親会では南
里前支部長の乾杯
まり、多様な世代
の交流が深まっ
た。最後に校歌齊
唱で幕を閉じた。

糟屋支部



令和7年6月7日、千代田区六番
町のプラザエフ(主婦会館)にて「東
京支部総会」が開催された。母校よ
り笛川キャリアセンター長、有信
会の川畑理事長など来賓5人、会員
55人が参加した。定時総会では支部
長挨拶の後、令和6年度の活動・決
算報告、監査報告、令和7年度の活
動計画・予算案が
審議され承認され
た。懇親会は母校
の岡田東京事務所
室長代理の乾杯で
始まり、新卒5人
を含む初参加者の
紹介が行われ、校
歌齊唱と記念撮影
後、閉会となつた。

東京支部



令和7年5月16日、JR九州ス
テーションホテル小倉で「第58回北
九州支部総会」が盛大に開催された。
母校の則松副学長、有信会本部の川
畑理事長を含む来賓15人、会員13
人、総計154人が出席。事業・
決算報告、事業計画、役員改選案が
承認され、日赤紹介への寄付も決
定した。懇親会
では名刺交換、
居合演武、抽選
会などで大いに
盛り上がった。
校歌齊
唱で幕を閉じた。
歳三唱で成功
に終了した。

北九州支部

支部だより (2025年2月~2025年7月開催分)



令和7年6月21日、名古屋ガーデンパレスにて「第53回東海支部総会」が開催された。来賓2人、会員31人が出席した。はじめに校歌斉唱を行った。会計報告、予算案が承認され、役員案も決定した。懇親会では新参加者の自己紹介が行われ、盛り上がりを見せた。最後に丁寧な締めで散会した。

東海支部



令和7年7月4日、ホテルフランクス諫早にて「令和7年度諫早支部総会」が開催された。来賓5人、会員31人が出席した。はじめに校歌斉唱、竹嶋支部長の挨拶で開会。吉満副学長、水原理事より母校の近況が報告された。令和6・7年度の活動報告、令和7年度の事業活動の実績と収支決算報告、令和7年度の事業計画・予算案が承認され、役員案も決定した。懇親会では新参加者の自己紹介が行われ、盛り上がりを見せた。最後に丁寧な締めで散会した。

諫早支部



令和7年7月5日、太宰府市いきいき情報センター12Fにて「第21回太宰府支部総会」が開催された。母校の山下副学長、有信会の村上理事長有信会の川畠理事長をはじめ、来賓4人、会員21人が参加した。植原支部長の挨拶後、役員変更案が承認され、事業・決算報告、令和7年度の事業計画・予算案が承認された。懇親会では新参加者の自己紹介が行われ、盛り上がりを見せた。最後に丁寧な締めで散会した。

太宰府支部



令和7年7月11日、福岡市西区の「山水荘」で「第23回有信会伊都支部通常総会」が開催された。母校の志渡澤事務局長、有信会の吉田事務局長の来賓2人、会員22人が参加。母校の近況や卒業生の活躍など有意義な話と激励の祝辞を述べた。懇親会では中原副支部長の乾杯で始まり、新旧会員が世代を超えて談笑する活気あふれる会となつた。最後に万歳三唱で締めくくられ、盛会のうちに終了した。

伊都支部



令和7年7月12日、筑紫野市生涯学習センターにて「令和7年度第21回筑紫野支部総会」が開催。令和6年度の活動・会計報告と令和7年度の活動方針が承認された。また、地域貢献として福岡大学筑紫病院の河村院長が講演し、会員と市民50人が熱心に受講した。懇親会は大丸別荘にて、母校の山下副学長、有信会の松原理事を含む来賓5人、会員19人が出席。和やかな雰囲気の中、交流を深め、校歌斉唱で萬歳三唱で閉会した。

筑紫野支部



令和7年6月7日、「ロイヤルチエスター伊万里」にて「第18回伊万里・有田支部総会」が開催された。昭和32年から平成9年卒までの31人が参加した。母校の則松副学長と有信会の村上理事を来賓に迎え、大学の現状や創立100周年に向けた取り組みに期待が高まつた。支部長挨拶では会員の活躍が紹介され、結成20周年への参加も呼びかけられた。会員間の親睦が深まり、盛会のうちに終了、今後も魅力ある会を目指す。



令和7年6月7日、龜の井ホテル奈良で「令和7年度奈良支部総会」が開催された。有信会の水原理事を来賓に迎えた。多くの会員が参加する支部活動には至っていない現状だが、新型コロナウイルス感染症の東傾向を受け、社会活動の正常化が期待される。会員間の親睦が深まり、盛会のうちに終了、今後も魅力ある会を目指す。



令和7年6月14日、横手会館にて「豊後高田支部第2回総会」が開催された。来賓1人、会員20人が出席し、平野支部長の開会の挨拶で幕を開けた。日頃の同窓会活動への感謝が述べられた後、議事へと移り、進む中、支部活動の活性化と回復を継続していくための会員の参加を期待する。



令和7年6月14日、横手会館にて「第21回山鹿支部総会」が開催された。来賓1人、会員14人が参加し、有信会からは石川理事が来賓として出席した。本年度も八日会への出席をより一層強化し、会員拡大に繋げていくことが議決された。懇親会では会員が加わり、会場は活気に満ち溢れ、親睦が深まつた。



令和7年6月14日、筑後川温泉「桑之屋」で「第26回浮羽支部総会」が開催された。母校の山下副学長、有信会より吉田事務局長、筑後地区各支部の役員を含む来賓8人、会員42人が出席した。大学の近況説明や祝賀演説が承認された。懇親会では、令和6年度の事業実績と収支決算報告、令和7年度の事業計画と予算案が審議され、可決された。総会後の懇親会では、会員たちが親睦を深め、楽しいひとときを過ごした。

伊万里有田支部

奈良支部

豊後高田支部

山鹿支部

浮羽支部

令和6年度 事業報告

一般社団法人福岡大学同窓会有信会は、昭和12年3月に福岡大学の前身福岡高等商業学校第一回生の卒業と同時に発足し、名称を「友信会」とした。昭和27年5月25日に「有信会」に名称変更し、文部省（現文部科学省）の許可を得て昭和30年2月1日一般社団法人有信会として発足し、公益法人制度改革三法の施行により、内閣総理大臣の認可を得て平成25年4月1日に一般社団法人に移行し、一般社団法人福岡大学同窓会有信会（以下「有信会」という。）に名称変更した。

本年度は、同窓会発足から87年目、社団法人発足から69年目、一般社団法人移行から11年目を迎えた。

有信会の事業としては、母校への支援、公益活動の推進、事業活動の充実と会員相互の親睦強化、各種会議・会合の有効な運営、広報活動の充実などを行った。

1 母校への支援

母校及び在校生への支援を行った。

- (1) 母校及び在校生への経済的支援等 令和6年11月4日（月）、卒業生を母校に迎える「ホームカミングデー」の式典と講演会等を大学との共催によりメディカルホールにおいて行った。永田潔文学長の主催者挨拶に続いて、川畠謙子理事長が共催挨拶を行った。

講師 大曲 昭恵氏（法医学部経営法学科昭和55年卒）

演題 新しい時代へ、今母校に思うこと

大曲氏による講演は、ご自身の体験に基づいて語られ、最後は母校にエールを贈った。

講演会後は、お楽しみ抽選会、和太鼓部「鼓舞猿」による気合溢れるパフォーマンスの披露や応援指導部応援団による卒業生へのエールなどがあり、会場は大盛り上がりとなった。

- (2) 在学生との懇談会を行った。同年5月13日（月）、在学生の人材育成の取組みとして、産業界などで指導的役割を果たされている多くの先輩と有意義な情報交換の場となる「在学生との懇談会」をホテルニューオータニ博多にて開催した。川畠謙子理事長が主催者挨拶を行った。続いて永田潔文学長が来賓挨拶を行った。

講師 ナナイロアリス福岡ヘッドコーチ 桑水流 裕策氏（スポーツ科学部平成20年卒）

演題 「スポーツから学んだこと」

入賞制ラグビー日本代表としてリオデジャネイロオリンピック出場時の映像を交えて講演いただいた。大学来賓（役職者、部長、監督等）、在学生、有信会会員（役員、招待者）約370人が熱心に聞き入った。

- (3) 有信会奨学生基金の奨学生採用式 有信会が、一般社団法人に移行する際に母校に贈った特定寄付金を原資とした「有信会奨学生基金」（貸与型）の奨学生採用式が、同年7月12日（金）ヘリオスプラザ6階ギャラリーで行われた。採用式では、永田潔文学長から京田彩花さん（薬学部6年）をはじめ名に奨学生証が授与された。川畠謙子理事長が激励の言葉を贈った。

- (4) 優賞金の贈呈 バリオリンピックに出場した、男子走り高跳び真友野博氏（工学部平成31年卒）、女子やり投げ上田百寧氏（スポーツ科学部令和4年卒）、男子400Mハーモンド筒江海斗氏（スポーツ科学部令和3年卒）、男子ハンドボール中村匠氏（スポーツ科学部平成31年卒）、令和6年度玉童旗高校剣道大会で優勝した福岡大学附属大濠高校剣道部、阪神タイガースからドラフト3位指名を受けた木下里都氏（スポーツ科学部令和5年卒）、北海道日本ハムファイターズからドラフト1位指名を受けた柴田獅子氏（福岡大学附属大濠高校3年）、第43回全日本女子学生剣道優勝大会で優勝した女子剣道部、ウィンターカップ2024大会で優勝した福岡大学附属大濠高校バスケットボール部に川畠謙子理事長が優賞金を贈呈した。

- (5) 就職支援ガイダンス等 在学生と有信会会員との就職相談会など母校キャリアセンターの活動等に協力した。

2 公益活動の推進

地域社会との連携を深める。また、地域福祉を含めた公益活動を実施した。

- (1) 講演会の開催 令和6年6月29日（土）、ホテルニューオータニ博多において、会員大会開催当日、川畠謙子理事長の主催者挨拶に統いて講演会を開催した。

講師 政治ジャーナリスト 田崎 史郎 氏

演題 「日本政治の舞台裏」

田崎氏は、7月の東京都知事選や今秋の自民党次期総裁選について解説。参加者（一般市民、来賓、会員）の約500人が熱心に聞き入った。

- (2) 社会福祉活動 有信ゴルフ会は、令和6年10月9日（水）小郡カンツリー倶楽部においてチャリティーゴルフ大会を開催し、チャリティー募金25万円を社会福祉法人レープ福岡 障がい福祉サービス事業所立花園（糟屋郡新宮町）に川畠謙子理事長より寄贈された。

3 事業活動の充実と会員相互の親睦強化

- (1) 会員大会 令和6年6月29日（土）、ホテルニューオータニ博多において開催した。

川畠謙子理事長の主催者挨拶に統いて永田潔文学長が来賓挨拶を行った。令和5年度の会務報告後、懇親会を開催した。

- (2) 新年賀詞交換会 令和7年1月22日（水）、ホテルニューオータニ博多において開催した。川畠謙子理事長が主催者挨拶を行った。統いて永田潔文学長が来賓挨拶を行った。

学長をはじめ母校役職者等を招き、新春を祝う恒例の事業で、158人が集った。

- (3) 有信八日会 会員の懇親、情報交換、異業種交流等の目的で「有信八日会」を年間8回開催した。冒頭に、川畠謙子理事長が主催者挨拶を行った。
- 通常例会は、6回（4月、9月、10月、11月、2月及び3月）、8月大交流会及び12月忘年会と併せて年間参加者数は、延べ536人であった。

4 各種会議・会合の有効な運営

各種会議・会合を必要に応じ開催し、組織の活性化に努めた。

- (1) 理事会等 令和6年5月2日（木）、6月5日（水）、7月11日（木）、12月12日（木）、令和7年2月3日（月）の計5回開催した。理事会では関連する重要事項を精査のうえ審議し、業務の円滑化に努めた。

- (2) 定時代議員総会 令和6年6月29日（土）、ホテルニューオータニ博多において開催した。
- 令和5年度事業報告、決算書類等の審議を行った。

- (3) 地域・職域支部長会 同年6月29日（土）、ホテルニューオータニ博多において開催した。

- (4) 各委員会 有信会の活動分野ごとに設けている委員会を必要に応じ開催した。

- (5) 母校福岡大学との連絡会議 母校と有信会との意思疎通を図るため、必要に応じ関係役職者や関係部局と連絡会議を行うと共に、同年12月12日（木）、大学役職者と有信会役職者との連絡協議会を開催した。

5 広報活動の充実

全国の有信会会員に広報紙「有信」とホームページを通して、有信会の運営方針や活動状況、各支部の活動、母校の現況などを発信した。

- (1) 広報紙「有信」 但し、終身会費未納（一部未納を含む。）の会員には、8月発行分のみ発送。

- (2) ホームページ 会員に最新の情報を届けると共に、各種行事や支部の行事予定、会員提供による企業情報等を充実、学生の頗著な活躍や成績のタイムリーな掲載に努めた。また、学生の活動状況を知るために母校ホームページのアクセスが簡単にできるように努めた。より使いやすいホームページを目指し、随時見直しのための検討を行い改善した。

6 組織の活性化

有信会を支える地域支部63、職域支部36、各学部同窓会、学年別同窓会及び学友会OB会が、各々の趣向で支部総会等を通して糸を深めた。

組織の活性化に関する各支部共通の課題は、(1)新規参加者を増やす日常的な努力が必要、(2)資金確保等々であった。

地域支部においても各学部同窓会等と相互に連携することにより、新規の方が参加しやすい企画を行うと共に、異業種間の交流の促進を図る必要がある。

7 会員データベースの充実と情報管理体制の徹底

会員の住所データや近況情報の更新等のため、日々地道な調査を続けている。特に住所変更調査は、個人情報保護法の施行に伴い、同窓会名簿の追跡調査に支障をきたすケースも増大している。

広報紙「有信」等発送後、宛先不明として返送された会員について追跡調査を行い、住所判明に努めている。会員の個人情報に関する情報収集・変更・管理・保全等に関して法令順守に努めた。

8 財政基盤の強化

- (1) 終身会費徴収の徹底 終身会費未納の卒業生に対し、令和6年8月発行の広報紙「有信」第166号に会費納入依頼書を同封し、終身会費の納付を依頼した。

- (2) 経費節減の努力 会議や集会の通知等に郵送だけでなく、メールやFAX等を活用し、郵送費節減に努め、事業活動においても効率的な運営を行うように努めた。

◆有信会の主なスケジュール◆

月日 予定行事

9/12 豊和銀行支部総会

9/13 田川支部総会

／ 佐世保支部総会（20周年）

20 工学部（土木・社会デザイン）福陽会総会

27 前期卒業式

下 大野城支部総会

10/4 大分支部総会

／ 第30回記念 福大OB落語会

9 第88回有信チャリティーゴルフ大会

11 鳥取西部支部総会

18 神戸支部総会

／ 山口支部総会

／ 宮崎県支部総会

／ 鹿児島支部総会

22 熊本支部総会（50周年）

25 沖縄支部総会

中 直鞍支部総会

中～下 鳥取中部支部総会

／ 大分銀行支部総会

11/3 法学部同窓会総会

／ 工学部（機械）福機会同窓会総会

11/8 大阪支部総会

／ 京築支部総会

14 下関支部総会

22 理学部創立55周年記念総会・祝賀会

23 商学部第二部同窓会総会

29 岩国支部総会

／ 香川県支部総会

上 宇部支部総会

中 徳島県支部総会

／ 愛媛県支部総会

12/11 第5回理事会・大学との連絡協議会

1/21 令和8年新年賀詞交換会

2/上 第6回理事会

／ 添田支部総会

中 飯塚支部総会

下 工学部同窓会総会

3/7 天草支部総会

19 大学卒業式

【注】上中下は上旬、中旬、下旬

スケジュール等に変更があるので、事前にご確認ください。

令和6年度 貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

| 科 目 | 当年度(A) | 前年度(B) | 増減(A)-(B) |
|---------------|---------------|-------------|-------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現 金 預 金 | 286,753,295 | 289,269,818 | △2,516,523 |
| 預 り 金 預 金 | 55,178 | 257,623 | △202,445 |
| 流動資産合計 | 286,808,473 | 289,527,441 | △2,718,968 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 基 本 金 資 産 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 1,182,000 | 615,000 | 567,000 |
| 特定資産合計 | 1,182,000 | 615,000 | 567,000 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 事 業 積 立 金 I | 430,000,000 | 400,000,000 | 30,000,000 |
| 什 器 備 品 | 483,243 | 651,082 | △167,839 |
| その他の固定資産合計 | 430,483,243 | 400,651,082 | 29,832,161 |
| 固定資産合計 | 431,965,243 | 401,566,082 | 30,399,161 |
| 資産合計 | 718,773,716 | 691,093,523 | 27,680,193 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 前 受 会 費 | 99,600,000 | 97,425,000 | 2,175,000 |
| 未 払 金 | 6,924,031 | 6,709,782 | 214,249 |
| 預 り 金 | 55,178 | 257,623 | △202,445 |
| 流動負債合計 | 106,579,209 | 104,392,405 | 2,186,804 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 前 受 会 費 | 103,387,500 | 100,267,500 | 3,120,000 |
| 退職給付引当金 | 1,182,000 | 615,000 | 567,000 |
| 固定負債合計 | 104,569,500 | 100,882,500 | 3,687,000 |
| 負債合計 | 211,148,709 | 205,274,905 | 5,873,804 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 指定正味財産合計 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| (うち基本財産への充当額) | (300,000) | (300,000) | (0) |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| (うち基本財産への充当額) | 507,325,007 | 485,518,618 | 21,806,389 |
| (うち特定資産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| 正味財産合計 | (1,182,000) | (615,000) | (567,000) |
| 負債及び正味財産合計 | 507,625,007 | 485,818,618 | 21,806,389 |
| | 718,773,716 | 691,093,523 | 27,680,193 |

令和6年度 正味財産増減計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位:円)

| 科 目 | 当年度(A) | 前年度(B) | 増減(A)-(B) |
|-----------------|---------------|---------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 財 産 運 用 収 益 | 106,318 | 54,962 | 51,356 |
| 受 取 会 費 収 益 | 132,962,500 | 134,904,500 | △1,942,000 |
| 受 取 会 費 収 益(1) | (128,272,500) | (130,612,500) | (△2,340,000) |
| 受 取 会 費 収 益(2) | (4,690,000) | (4,292,000) | (398,000) |
| 受 取 負 担 金 収 益 | 2,529,000 | 1,787,000 | 742,000 |
| 有 信 共 益 事 業 収 益 | 4,432,289 | 4,168,894 | 263,395 |
| 有 信 八 日 会 収 益 | (2,780,289) | (2,584,644) | (195,645) |
| 有 信 ゴ ル フ 会 収 益 | (1,652,000) | (1,584,250) | (67,750) |
| 雑 収 益 | 0 | 0 | 0 |
| 経常収益計 | 140,030,107 | 140,915,356 | △885,249 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事 業 費 | 84,765,605 | 77,329,436 | 7,436,169 |
| 母 校 援 助 費 | 22,993,101 | 17,070,666 | 5,922,435 |
| 広 報 誌 発 行 費 | 29,092,572 | 29,015,863 | 76,709 |
| I T 事 業 費 | 1,787,400 | 2,065,683 | △278,283 |
| 会 員 大 会 費 | 5,570,869 | 4,895,471 | 675,398 |
| 講 演 会 費 | 2,080,210 | 1,806,854 | 273,356 |
| 新 年 賀 詞 交 換 会 費 | 2,654,884 | 2,642,270 | 12,614 |
| 支 部 援 助 費 | 14,978,985 | 13,428,373 | 1,550,612 |
| 有 信 共 益 事 業 費 | 5,607,584 | 6,404,256 | △796,672 |
| 有 信 八 日 会 支 出 | (3,936,944) | (4,670,006) | (△733,062) |
| 有 信 ゴ ル フ 会 支 出 | (1,670,640) | (1,734,250) | (△63,610) |
| 管 理 費 | 33,458,113 | 36,383,978 | △2,925,865 |
| 給 料 手 当 費 | 12,993,575 | 17,177,713 | △4,184,138 |
| 福 利 厚 生 費 | 1,733,381 | 2,266,690 | △533,309 |
| 会 議 費 | 5,523,134 | 3,753,331 | 1,769,803 |
| 旅 費 交 通 費 | 2,738,950 | 2,636,870 | 102,080 |
| 通 信 運 搬 費 | 1,692,580 | 1,510,693 | 181,887 |
| 消 耗 品 費 | 429,848 | 691,285 | △261,437 |
| 印 刷 製 本 費 | 2,030,153 | 2,328,667 | △298,514 |
| 賃 借 料 費 | 1,086,745 | 900,451 | 186,294 |
| 光 熱 費 | 208,679 | 238,608 | △29,929 |
| 支 払 手 数 料 費 | 197,834 | 180,076 | 17,758 |
| 公 祖 公 課 | 66,267 | 58,399 | 7,868 |
| 雜 費 | 3,917,694 | 3,303,594 | 614,100 |
| 退 職 給 付 費 用 | 567,000 | 1,058,000 | △491,000 |
| 減 償 費 用 却 | 272,273 | 279,601 | △7,328 |
| 経常費用計 | 118,223,718 | 113,713,414 | 4,510,304 |
| 当期経常増減額 | 21,806,389 | 27,201,942 | △5,395,553 |

| 科 目 | 当年度(A) | 前年度(B) | 増減(A)-(B) |
|---------------|-------------|-------------|------------|
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | 0 | 0 | 0 |
| 什器備品除却損 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | 21,806,389 | 27,201,942 | △5,395,553 |
| 一般正味財産期首残高 | 485,518,618 | 458,316,676 | 27,201,942 |
| 一般正味財産期末残高 | 507,325,007 | 485,518,618 | 21,806,389 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 300,000 | 300,000 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 507,625,007 | 485,818,618 | 21,806,389 |

令和6年度 収 支 計 算 書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 予算額(A) | 決算額(B) |
|----------------|-------------|-------------|
| I 事業活動収支の部 | | |
| 1 事業活動収入 | | |
| ① 財産運用収入 | 11,000 | 106,318 |
| 財産運用収入 | | |
| ② 会費収入 | | |
| 会費収入(1) | 128,580,000 | 128,272,500 |
| 会費収入(2) | 3,500,000 | 4,690,000 |
| ③ 負担金収入 | 2,720,000 | 2,529,000 |
| ④ 有信共益事業収入 | | |
| 有信八日会収入 | 3,700,000 | 2,780,289 |
| 有信ゴルフ会収入 | 1,950,000 | 1,652,000 |
| ⑤ 雜収入 | 1,000 | 0 |
| 事業活動収入計 | 140,462,000 | 140,030,107 |
| 2 事業活動支出 | | |
| ① 事業費支出 | | |
| 母校援助費支出 | 28,400,000 | 22,993,101 |
| 広報紙発行費支出 | 31,670,000 | 29,092,572 |
| I T 事業費支出 | 4,300,000 | 1,787,400 |
| 会員大会費支出 | 5,230,000 | 5,570,869 |
| 講演会費支出 | 4,470,000 | 2,080,210 |
| 新年賀詞交換会支出 | 2,695,000 | 2,654,884 |
| 支部援助費支出 | 15,870,000 | 14,978,985 |
| 有信共益事業支出 | | |
| 有信八日会支出 | 3,700,000 | 3,936,944 |
| 有信ゴルフ会支出 | 1,950,000 | 1,670,640 |
| 事業費支出計 | 98,285,000 | 84,765,605 |
| ② 管理費支出 | | |
| 給料手当支出 | 16,970,000 | 12,993,575 |
| 福利厚生費支出 | 2,490,000 | 1,733,381 |
| 退職金支出 | 0 | 0 |
| 会議費支出 | 5,550,000 | 5,523,134 |
| 旅費交通費支出 | 3,925,000 | 2,738,950 |
| 通信運搬費支出 | 2,230,000 | 1,692,580 |
| 消耗品費支出 | 870,000 | 429,848 |
| 印刷製本費支出 | 2,780,000 | 2,030,153 |
| 賃借料支出 | 900,000 | 1,086,745 |
| 光熱費支出 | 250,000 | 208,679 |
| 支払手数料支出 | 250,000 | 197,834 |
| 公租公課 | 70,000 | 66,267 |
| 雑費支出 | 4,310,000 | 3,917,694 |
| 管理費支出計 | 40,595,000 | 32,618,840 |
| 事業活動支出計 | 138,880,000 | 117,384,445 |
| 事業活動収支差額 | 1,582,000 | 22,645,662 |
| II 投資活動収支の部 | | |
| 1 投資活動収入 | | |
| ① 退職給付引当預金取扱収入 | 0 | 0 |
| 投資活動収入計 | 0 | 0 |
| 2 投資活動支出 | | |
| ① 特定資産引当資産支出 | 567,000 | 567,000 |
| 退職給付引当預金支出 | | |
| ② 固定資産取得支出 | | |
| 事業積立金 I 繰入支出 | 30,000,000 | 30,000,000 |
| 什器備品取得支出 | 500,000 | 104,434 |
| 投資活動支出計 | 31,067,000 | 30,671,434 |
| 投資活動収支差額 | △31,067,000 | △30,671,434 |
| III 財務活動収支の部 | | |
| 1 その他の収入 | | |
| 前受会費収入 | 98,175,000 | 102,270,000 |
| その他の収入計 | 98,175,000 | 102,270,000 |
| 2 収入調整勘定支出 | | |
| 前受会費調整支出 | 97,425,000 | 96,975,000 |
| 収入調整勘定支出計 | 97,425,000 | 96,975,000 |
| 財務活動収支差額 | 750,000 | 5,295,000 |
| IV 予備費支出 | | |
| 当期収支差額 | 3,000,000 | 0 |
| △31,735,000 | △2,730,772 | |
| 前期繰越収支差額 | 289,829,993 | 282,560,036 |
| 次期繰越収支差額 | 258,094,993 | 279,829,264 |

OB・OG探訪

懐かしい卒業アルバム振り返り 写真部第21代のメンバーが写真展を開催

Photography club
Photo Exhibition
presented by the 21th photography club



写真展会場で説明を受ける来場者



「定期的に集い、各自のモチーフやテーマで活動しています」と話すメンバー

メンバー11人は、昭和46年に写真部に入部し、昭和50年の卒業アルバムのエンディングメッセージ「春・夏・秋・冬そして明日へ」と写真に携わった。卒部以来、同期の会を「夢追い人俱楽部」と称し、人生の節目で家族ぐるみの交流を続けてきた。また、現役写真部のOB会「七隈写友会」のサポート役としても活動を推進してきた。

今回の写真展は、半世紀後の答えとして「春・夏・秋・冬そして今」をテーマに、50年の歩みを表現するもので、さらに、メンバーの井上忠俊さん（商59）の祖父である山の絵師「山本作兵衛翁」の記憶画とのコラボ展も併催し注目を集めた。

メンバー11人は、昭和46年に写真部に入部し、昭和50年の卒業アルバムのエンディングメッセージ「春・夏・秋・冬そして明日へ」と写真に携わった。卒部以来、同期の会を「夢追い人俱楽部」と称し、人生の節目で家族ぐるみの交流を続けてきた。また、現役写真部のOB会「七隈写友会」のサポート役としても活動を推進してきた。

写真部第21代「夢追い人俱楽部」が、卒部50年を記念し友添本店ギャラリー（福岡市中央区）で、写真展「春・夏・秋・冬 そして今」を開催した。

【令和7年度有信八日会日程（9月以降）】

| 会合名 | 開催日 | 開催場所・時間 |
|-------------|-------------|-----------------------|
| 9月例会 | 9月8日(月) | 会場はすべて |
| 10月例会 | 10月8日(水) | TKP天神スカイホール |
| 11月例会 | 11月10日(月) | 18:30~20:00 |
| 忘年八日会 | 12月13日(土) | 尚、12月は 18:30~20:30 |
| 2月例会 | R8/2月6日(金) | |
| 3月例会 | R8/3月9日(月) | |
| 令和8年新年賀詞交換会 | R8/1月21日(水) | ホテルニューオータニ博多 |

【学部・学科同窓会開催予定】

| 学部 | 開催日 | 開催場所 |
|------------------------------|-----------|--------------------------|
| 法 学 部 同 窓 会 | 11月3日(祝) | 福岡大学文系センター |
| 商 学 部 第二部 同 窓 会 | 11月23日(日) | 福岡大学文系センター 16Fスカイラウンジ |
| 福 機 会 (工学部／機械工学科) | 11月3日(祝) | 未定 |
| 福 陽 会 (工学部・土木・社会 デザイン工学科) | 9月20日(土) | ホテルクリオコート |
| 理 学 部 55周年 | 11月22日(土) | 福岡大学中央図書館 多目的ホール |

※詳細は有信会ホームページの各学部同窓会サイトをご覧ください

お悔やみ申し上げます

林幹男
田中隆一
名譽教授
(工学部)
令和7年6月20日逝去
(84歳)

お悔やみ申し上げます

第30回記念
福大OB落語会・懇親会

①第30回記念 福大OB落語会
開催日時 令和7年10月4日(土)
13:00~15:30
開催場所 福岡大学病院
福大メディカルホール
入場無料

②来賓・現役学生・OBを交えての懇親会
開催日時 令和7年10月4日(土)17:00~
開催場所 福岡大学文系センター16F
「スカイラウンジ」

理学部創立55周年記念 講演会・懇親会

日 時 令和7年11月22日(土)

講演会 11:00~

会 場 福岡大学中央図書館
多目的ホール

①講演 最近の理学部の研究 (各20分)

理学部応用数学科 佐野教授 「最近の幾何学の話」

理学部応用物理学科 政田准教授 「AI × 物理で考える宇宙の話」

理学部化学科 林田教授 「極微の世界で分子を創造する話」

理学部地球圏科学科 菱 教授 「生物多様性と生態系の話」

②懇親会 13:00~

会 場 福岡大学中央図書館 1F
「MASTERS CAFE」

お知らせ